

事業の背景・目的

平成28年度に環境省の公募事業である地域循環共生圏構築事業のモデル地域に選定されて以降、吹田市と能勢町は街と里の持続可能な交流の仕組みづくりに取り組んできました。平成30年度からは、吹田市と能勢町や地域のステークホルダーが参画する「能勢の里山活力創造推進協議会」を設置し、環境省の公募事業である生物多様性保全推進支援事業に取り組み、能勢町の生物多様性資源の課題や未来の目標、施策を取りまとめた「能勢の里山活力創造戦略」(能勢町生物多様性地域連携保全活動計画)を策定し、生物多様性資源保全の指標を作成しました。

令和元年度は「能勢の里山活力創造戦略」に定めた目標に向かい事業に取り組みました。

事業の内容

○能勢の里山DAY CAMPの実施

街と里の次世代を担う子ども達の交流イベントとして、「里山DAY CAMP」を実施しました。

○活きた里山での地域づくりを考えるフォーラムを開催

能勢町が平成30年度に策定した「能勢の里山活力創造戦略」について、町内外の一般市民に向けて広く知っていただくためのフォーラムを開催しました。

○能勢のクリ林再生プロジェクトの実施

企業のCSR活動等によるクリ林の再生を目指し、吹田市民をはじめとする都市住民が能勢町のクリ林を訪れました。



得られた成果

・クリ林での生きもの観察会や、能勢材を使った木工体験、カブトムシハウスや、標本の展示を行い子ども達に生物多様性資源の魅力を伝えました。

・石井実氏（大阪府立大学名誉教授・学長顧問）より、能勢町の里山の素晴らしさと、本戦略の内容についての講評を、石井氏が会長を務める「公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会」の活動も交えながらお話していただきました。

・楽しみながら収穫作業を行うとともに、クリ林の維持管理によって守られる生きものの生育・生息環境について学ぶことで、新たな栗栽培の担い手育成のきっかけを作りとしました。